



# 「ちいばす」ダイヤ改正のお知らせ（令和6年4月1日～）

利便性向上及び安定した運行体制を確保するため、以下ルートของダイヤ改正を実施します。

ルート		改正概要		対象便等
田町 (車庫発便)	芝浦車庫⇔田町駅	平日	運行回数を変更（増便）します。	改正後のダイヤは、ページ下部のQRコードからご確認ください。
芝	新橋駅⇔みなとパーク芝浦	土休日	運行回数を変更（減便）します。	163「みなとパーク芝浦」 18:58発・19:28発 58「新橋駅」 18:29発・18:56発
麻布東	港区役所北⇔六本木ヒルズ	土休日	運行回数を変更（減便）します。	68-2「港区役所北」 7:38発・19:38発
麻布西	広尾駅⇔六本木けやき坂	土休日	運行回数を変更（減便）します。	14「麻布十番」 20:07発・20:27発
青山	六本木ヒルズ⇔赤坂見附駅	平日	運行時刻を変更します。	始発・最終便の発車時刻を20分繰り上げます。
		土休日	運行回数を変更（減便）します。	16「六本木ヒルズ」 19:44発・20:04発 126「赤坂見附駅」 20:31発・20:51発
高輪	品川駅港南口⇔浅草線三田駅前	平日 土休日	運行時刻を変更します。	始発・最終便の発車時刻を20分繰り上げます。
芝浦港南	竹芝栈橋入口⇔田町駅東口 ⇔品川駅港南口	平日 土休日	運行回数を変更（減便）します。	改正後のダイヤは、ページ下部のQRコードからご確認ください。



ちいばすお客様窓口  
(櫛)フジエクスプレス  
☎03-3455-2213

港区地域交通課  
地域交通係  
☎03-3578-2279

改正後のダイヤは  
ホームページをご覧ください

港区HP



フジエクスプレス  
HP



港区

# 伝わる日本語 シンポジウム

～協働でつくる「伝わる」日本語～

港区が行う「伝わる日本語」の取組を、区民、企業、団体等へ浸透させるとともに、他の地方公共団体へ広く発信することを目的に、シンポジウムを開催します。シンポジウムでは、伝わる日本語の取組の一環として行った専門家との共同研究の成果報告、区が策定した行動指針の内容の紹介に加え、基調講演、パネルディスカッションなどを行います。

**伝わる日本語とは？** あらゆる人に必要な情報が伝わるよう、情報を受け取る相手の立場に立って分かりやすく情報を伝えること

令和6年  
**3.19** 火

13:00～16:30 (開場 12:30)

**会場** 港区立高輪区民センター  
区民ホール  
港区高輪一丁目16番25号  
高輪コミュニティーぶらざ3階

定員 200名  
参加費 無料

## 参加申込方法

▶ WEB:  
<https://logoform.jp/form/Mt5V/456864>



▶ 電話：総務部総務課伝わる日本語推進担当 (03-3578-2021)

申込締め切り：3月8日(金)17時

▶ 手話通訳あり

▶ 一時保育の利用を希望される方は、3月1日(金)までにお申し出ください。(定員5名程度、4か月～就学前)

▶ お問い合わせ先：総務部総務課伝わる日本語推進担当  
電話：03-3578-2021

## プログラム (予定)

第1部

13:00～ 主催者挨拶 武井 雅昭 (港区長)

13:10～ 開催趣旨説明 庵 功雄 氏 (一橋大学 国際教育交流センター 教授)

13:20～ 基調講演

**「伝わる」だけで大丈夫？ ～伝えることの前に配慮すべきこと～**  
宇佐美 洋 氏 (東京大学大学院 総合文化研究科 教授)

14:00～ 休憩

14:10～ **伝わる日本語に関する共同研究の成果報告**

太田 陽子 氏 (一橋大学 国際教育交流センター 教授)

柳田 直美 氏 (早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授)

岩田 一成 氏 (聖心女子大学 現代教養学部 教授)

14:40～ **港区伝わる日本語行動指針の紹介**

港区総務部伝わる日本語推進担当課長

14:50～ 休憩

第2部

15:05～ 意見交換

**区民から見た「港区伝わる日本語行動指針」**

ファシリテーター：岩田 一成 氏 (聖心女子大学 現代教養学部 教授)

参加者：区民3名、港区総務部伝わる日本語推進担当課長

15:35～ 休憩

15:40～ **パネルディスカッション**

**港区の情報発信はどのようであるべきか**

ファシリテーター：庵 功雄 氏 (一橋大学 国際教育交流センター 教授)

パネリスト：宇佐美 洋 氏 (東京大学大学院 総合文化研究科 教授)

岩田 一成 氏 (聖心女子大学 現代教養学部 教授)

区民3名、港区総務部伝わる日本語推進担当課長

基調講演  
パネルディスカッション

## 宇佐美 洋

東京大学大学院  
総合文化研究科 教授



国立国語研究所勤務を経て現職。ことばが「どう使われるべきか」ではなく、実際のところ「どのように使われているのか」、そうした使用実態について人々が「どのように感じているのか」に関心をもつ。また、ことばについての感じ方が違っていたとしても、それでも良好な人間関係を作っていくようにするにはどうしたらいいか、ということについても考え続けている。  
著書に『「評価」を持って街に出よう―「教えたこと・学んだこと」の評価』という発想を超えて』（くろしお出版）などがある。

開催趣旨説明  
パネルディスカッション

## 庵 功雄

一橋大学  
国際教育交流センター  
教授



大阪大学文学研究科博士課程修了（博士（文学））。大阪大学文学部助手、一橋大学留学生センター専任講師などを経て、現職。専門は日本語教育、日本語学。港区と「伝わる日本語」に関する共同研究を行う、「やさしい日本語」研究グループの代表を務める。主な著書に、『やさしい日本語』（岩波新書）、『やさしい日本語』表現事典、『日本人の日本語』を考える』（ともに丸善出版）などがある。

# 登壇者プロフィール

成果報告

## 太田 陽子

一橋大学  
国際教育交流センター 教授

早稲田大学大学院修了。博士（日本語教育学）。国際交流基金専門家（マレーシア）、早稲田大学、相模女子大学を経て現職。専門は日本語教育学。特に、教育文法。留学生に対する日本語教育とともに、大学院で日本語教育の教員・研究者養成に携わる。著書に『文脈をえがく 運用力につながる文法記述の理念と方法』（ココ出版）、編著書に『超基礎 日本語教育のための日本語学』（くろしお出版）などがある。

成果報告

## 柳田 直美

早稲田大学大学院  
日本語教育研究科 教授

筑波大学大学院修士課程修了。博士（言語学）。関西学院大学、一橋大学等を経て、現職。専門は談話分析、日本語教育学。自治体職員向けの研修を実施し、外国人にもわかりやすい話し方の支援を行っている。著書に『接触場面における母語話者のコミュニケーション方略：情報やりとり方略の学習に着目して』（ココ出版）、『やさしい日本語で伝わる！ 公務員のための外国人対応』（学陽書房、共著）などがある。

成果報告  
意見交換  
パネル  
ディスカッション

## 岩田 一成

聖心女子大学  
現代教養学部 教授

国際交流基金日本語国際センター、広島市立大学を経て、現職。専門は日本語教育学。出入国在留管理庁、神奈川県・埼玉県・静岡県などで職員向け研修を実施し、外国人にもわかりやすい公用文作成の支援に取り組む。『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』作成メンバーの一人。

# 港区 伝わる日本語 シンポジウム

～協働でつくる「伝わる」日本語～

主催 / 港区

会場

## 港区立高輪区民センター 区民ホール

港区高輪一丁目16番25号 高輪コミュニティーぶらざ3階

### 会場までのアクセス

- ▶ 地下鉄南北線、三田線白金高輪駅（1番出口）から徒歩1分（直結）
- ▶ 港区コミュニティバス（ちいばす）高輪ルート、「高輪地区総合支所前」から徒歩0分

お問い合わせ先：総務部総務課伝わる日本語推進担当  
電話：03-3578-2021

